

- 1. 履修単位数 2単位
- 2. 実施日時 令和○年 ○月 ○日 第○時限
- 3. 学 級 ○○HR (○○名)
- 4. 使用教科書 「高校社会と情報 新訂版」 (実教出版) 社情 312
- 5. 単 元 名 4章 デジタル化 2項 静止画像の扱い

6. 題材設定の理由

(1) 教材観

静止画像は効果的に意図や情報を伝達するために普遍的にかつ頻繁に用いられる表現方法である。ここでは、静止画像を扱うことのできるソフトウェアの種類と特徴を理解し、基本的な画像書影の方法を身につけさせることが目標である。

(2) 生徒観

スマートフォンやタブレットに親しみの深い世代であり、情報機器自体への不安のある生徒は少ない。ここまでの座学やパーソナルコンピュータを用いた実習で、基本的な操作や文字入力等の技術を身につけている。しかし、キーボード操作やウィンドウズでのファイル操作等の習熟に生徒間で大きな差があり、細やかな助言指導が必要な生徒も少なくない。

(3) 指導観

画像それ自体は難解ではないが、パソコンを用いて実際に操作を行う過程では生徒間で大きな差が生じることが予見される。苦手意識をもたないように丁寧な指導をしたい。

7. 単元の目標

ペイント系ソフト、ドロー系ソフトについて学ぶ。画像処理ソフトを用いて、様々な画像処理を行う。

8. 単元の評価規準

- (1) ラスタ形式とベクタ形式の図形を描画する実習を意欲的に行おうとしているか。(関心・意欲・態度)
- (2) 画像の解像度や階調を変更できるソフトウェアを使い、意欲的に実習しようとしているか。(思考・判断・表現)
- (3) 画像の解像度や階調を変更できるソフトウェアを適切に操作できるか。(技能)
- (4) ペイント系ソフト、ドロー系ソフトの違いを理解しているか。(知識・理解)

9. 指導と評価の計画

| 時間            | 学習内容                     | 単元の評価規準との関連    |                |    |          | 評価方法等                     |
|---------------|--------------------------|----------------|----------------|----|----------|---------------------------|
|               |                          | 関心<br>意欲<br>態度 | 思考<br>判断<br>表現 | 技能 | 知識<br>理解 |                           |
| 1<br>(本<br>時) | ・ペイント系ソフト、ドロー系ソフトについて学ぶ。 | ◎              |                |    | ◎        | ◎行動観察<br>○ワークシート<br>◎定期考査 |
| 2             | ・画像処理ソフトを用いて、様々な画像処理を行う。 | ○              | ◎              | ◎  |          | ◎提出課題<br>◎行動観察            |

10. 本時の指導目標

2種類の画像処理ソフトウェアについて、特徴を実機にて操作することを通じて理解させる。

11. 本時の展開

| 時間<br>(分)  | 学習活動                             | 指導上の留意点   | 学習活動における<br>具体的評価規準                            | 評価方法  |
|------------|----------------------------------|---|--|---|
| 導入<br>(6)  | 1.画像についての経験や活用場面を想起させる。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問し、意図した意見が出ない場合は例示して補足する。</li> <li>・タブレットPCを並行して起動させる。</li> </ul>                            |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発問</li> </ul>                 |
| 展開<br>(41) | <b>2. 実習1 ペイント系ソフトで描画し、観察する。</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作方法を繰り返し演示すると同時に、ワークシートで補完する。</li> <li>・ペイント系ソフトとして、本時はWindows10標準搭載の「ペイント」を利用する。</li> </ul> | ラスタ形式とベクタ形式の図形を描画する実習を意欲的に行おうとしているか。(関心・意欲・態度) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> </ul>               |
|            | <b>3. 実習2 ドロー系ソフトで描画し、観察する。</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作方法を繰り返し演示すると同時に、ワークシートで補完する。</li> <li>・ドロー系ソフトとして、本時はWord2019のオートシェイプ機能を利用する。</li> </ul>    | 同上   | 同上  |
|            | 4.ペイント系とドロー系ソフトを比較しながらまとめる。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習で行ったことを振り返りながらまとめる。</li> <li>・PowerPointで演示し、ワークシートへの記入の補助を行う。</li> </ul>                   | ペイント系ソフト、ドロー系ソフトの違いを理解しているか。(知識・理解)            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート<br/>(・定期考査)</li> </ul> |
| まとめ<br>(6) | 5.本時の内容を振り返る。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに感想や課題を記入する。</li> <li>・並行して、保管庫の混雑を避けるため、列ごとに指定してタブレットPCを片付ける。</li> </ul>               |  |   |